

2007年第3四半期(1-9月)課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

【ビール+発泡酒+新ジャンル】 第3四半期ではマイナス(▲1.3%)。

【ビール】 第3四半期ではマイナス(▲1.8%)。

【発泡酒】 マイナス幅は縮小傾向にあるものの、第3四半期ではマイナス(▲2.6%)。

【新ジャンル】 依然拡大を継続し、プラス(+1.8%)。構成比は20.1%。

《ビール+発泡酒+新ジャンル》

- 8月、9月と好天に恵まれたものの、ビール・発泡酒がマイナスで推移したこともあり、マイナス(▲1.3%)となった。

《ビール》

- 減少傾向が続くビール市場において、各社の販促活動強化もあったが、全体のマイナスをカバーするには至らず、第3四半期ではマイナス(▲1.8%)となった。

《発泡酒》

- 落ち込み幅は縮小したものの、マイナス(▲2.6%)となった。
- 上位ブランドや「機能系」といった商品特性の明確な商品への集中が高まった。

《新ジャンル》

- 各社商品のリニューアルや新商品の投入などもあり、市場全体は拡大(+1.8%)。構成比も19.5%から20.1%に。

2. キリン社 概況

【ビール+発泡酒+新ジャンル】 昨年的大幅プラス(+6.8%)の裏返しもある中、ビールの健闘、新ジャンルの好調もあり、若干のマイナス(▲2.2%)に留まった。

【ビール】 「キリン・ザ・ゴールド」が寄与し、業界平均を上回り前年並み(▲1.1%)に留まった。上半期に続き、第3四半期でもシェアアップ。

【発泡酒】 業界同様にマイナス(▲6.3%)となったものの、淡麗ブランドなど基幹ブランドは堅調に推移。

【新ジャンル】 各社新商品が相次ぐ中、「のどごし〈生〉」の好調、「良質素材」の発売により、プラス(+2.5%)。大幅増(54.9%)を記録した昨年をさらに上回った。第3四半期ではシェアを過去最大に拡大。

《ビール+発泡酒+新ジャンル》

- 昨年的大幅増（+6.8%）の裏返しもある中、「のどごし〈生〉」の好調、「良質素材」、「キリン・ザ・ゴールド」の発売、さらには基幹商品の健闘もあり、若干のマイクス（▲2.2%）に留まった。
- 特に一番搾りブランド、淡麗ブランド、「のどごし〈生〉」の好調もあり、9月単月の販売数はプラスになるなど、業界全体がマイクスの中、主力ブランドを中心に健闘している。

《ビール》

- ビール計は、「キリン・ザ・ゴールド」などが寄与したこともあり、業界平均を上回り前年並み（▲1.1%）に留まった。上半期に続き第3四半期でもシェアアップ。
- また、プレミアムビールの「ブラウマイスター」（+16.6%）や「ハートランド」（+10.1%）も好調に推移。
※「ブラウマイスター」「ハートランド」の前年比（カッコ内）は販売ベース。

《発泡酒》

- 発泡酒計では、業界同様マイクス（▲6.3%）となったものの、“糖質70%オフ”の「淡麗グリーンラベル」（+6.3%）と“プリン体99%カット”の「淡麗アルファ」（+0.6%）が対前年プラスとなり、発泡酒全体を牽引。
※「淡麗グリーンラベル」「淡麗アルファ」の前年比（カッコ内）は販売ベース。

《新ジャンル》

- 新ジャンル計は、各社新商品発売が相次ぐ中、好調を継続し、対前年プラス（+2.5%）。第3四半期ではシェアを過去最大に拡大。「のどごし〈生〉」の好調、「良質素材」の発売により、3,067万ケースを出荷。

以 上